

講演会

エジプトで墓を掘る！

現在展示中の木棺とミイラマスクのレプリカは、カイロ近郊の遺跡で未盗掘の状態で見つされたセヌウという人物の墓のもので、その墓の発見と発掘、そして古代エジプトにおける棺と埋葬、来世観についてお話しします。

日時 4月26日(土) 午後1時30分～3時
会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

講師 馬場 匡浩 氏(早稲田大学考古資料館学芸員)
対象 どなたでも / 定員 100名(先着順)
申込 4月10日(木) 午前9時からいずれかの方法で
①電話 0495-71-6878
②メール hwmm@city.honjo.lg.jp
③本庄早稲田の杜ミュージアム窓口

古代エジプト人の来世観に迫るワークショップ

ミニ陶棺をつくろう

古代エジプトの土製の棺「陶棺」について学び、実物の10分の1サイズのミニ陶棺を作ります。

日時 4月27日(日)・29日(祝)
午前10時～午後2時～
(体験時間の目安は90分)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
対象 どなたでも
定員 各10名(先着順)
費用 200円
用意 汚れてもよい服装
申込 4月12日(土) 午前9時から
いずれかの方法で
①電話 0495-71-6878
②本庄早稲田の杜ミュージアム窓口

▼セヌウのミイラマスク
(レプリカ展示)



謎解きイベント

古代エジプトの世界からの脱出



ヒエログリフを読み解いた天才・シャンポリオンの弟子となり、古代エジプトの謎を解き明かそう！

期間 4月15日(火)～5月25日(日)
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム / 対象 どなたでも
費用 無料 ※申し込みは不要です。



古代エジプト

の棺と埋葬

その来世観とは？

2025 1/28 火 - 5/25 日

開館時間: 午前9時～午後4時30分
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

会場: 本庄早稲田の杜ミュージアム早稲田大学展示室
主催: 早稲田大学文化企画課考古資料館
後援: 一般社団法人日本エジプト考古学研究所
東日本国際大学エジプト考古学研究所
株式会社アクト



会期 開催中 - 5月25日(日)
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
早稲田大学展示室
開館時間 午前9時～午後4時30分
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)
入館料 無料

古代エジプトの棺と埋葬

早稲田大学展示室
企画展

エジプト文明の特徴は、埋葬にあります。かの有名なツタンカーメンの墓では、ミイラが四重の棺に入れられ、数多くの副葬品とともに埋葬されました。こうした華やかな埋葬は、ファラオの権威を誇示するためだけではなく、そこには、古代エジプトの死生観が反映されているのです。

吉村作治氏を中心に結成された早稲田大学エジプト調査隊は、1971(昭和46)年、最初の調査権をエジプト政府から取得し、マルカタ南遺跡の発掘を開始しました。そこでは、新王国時代のファラオ・アメンヘテプ3世の儀礼用彩色階段が発見されましたが、その周囲から、後の時代の棺も多く見つかりました。またその後、ダハシュール北遺跡では、未盗掘墓が見つかり、彩色木棺や青いミイラマスクなどの大発見がありました。

本展示会では、これら貴重な資料を用いて、古代エジプトの棺と埋葬そして死生観について紹介します。

キッズデー

～こどものためのミュージアムの日～

エジプト祭

5/3 ▶ 5/6

今年のテーマは「エジプト」。現在開催中の企画展「古代エジプトの棺と埋葬」で古代エジプトを学んで、モノづくりを楽しもう！

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム

対象 どなたでも

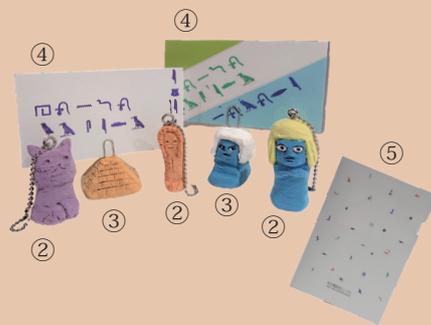
※申込は不要ですので、直接会場にお越しください。



5/3 ▶ 6 ①ミイラ布柄 トートバッグ

死者を包む布「ミイラ布」デザインのとートバッグを作ります。

費用 150円



5/3 ②シャブティ キーホルダー

死者とともに埋葬された小さな像「シャブティ」を紙ねんどで作って、キーホルダーにします。

5/4 ③シャブティ メモスタンド

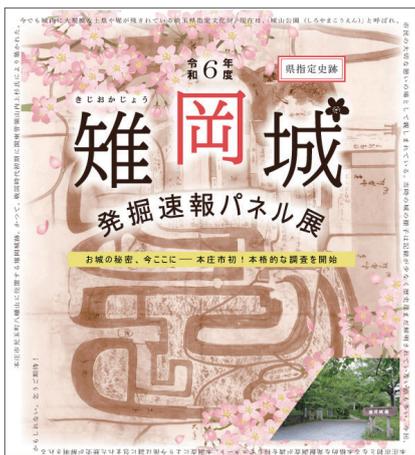
シャブティをモチーフにしたメモスタンドを作ります。

5/5 ④ヒエログリフ ネームカード

古代エジプトで使われた文字「ヒエログリフ」を使って、ネームカードを作ります。

5/6 ⑤ヒエログリフ ペーパーホルダー

ヒエログリフスタンプを使って紙製のホルダーを作ります。



本庄市児玉町八幡山に位置する雉岡城跡。かつて戦国時代初期に関東管領山内上杉氏により築られました。今でも城内に大規模な土塁や堀が残されている埼玉県指定文化財です。現在は、「城山公園」と呼ばれ、市民の大切な憩いの場として親しまれています。

会期 開催中 - 4月13日(日)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム交流ひろば

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)

入館料 無料

当時の城の様子は記録が少なく、その歴史はまだ解明されていない点も多くある雉岡城ですが、令和6年12月より、本庄市初となる本格的な発掘調査がスタートしました。今回の展示では、発掘の様子や最新情報をパネルで紹介します。

近代日本を紡いだ 蚕業教育



木村九蔵
と競進社

木村九蔵の養蚕伝習の基盤となった競進社の蚕業教育を、埼玉県立児玉高等学校が所蔵する当時の資料を基に紹介します。

会期 開催中 - 4月28日(月)

会場 本庄レンガ倉庫1階展示スペース

本庄市銀座 1-5-16

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日 会期中無休/入館料 無料

担当学芸員による展示解説

日時 ①4月23日(水)、②25日(金)

午前10時30分～11時

対象 どなたでも/定員 各10名(先着順)

申込 4月11日(金)午前9時から

電話、メールまたは直接本庄早稲田の杜ミュージアムへ

ご来館時の注意事項

本庄市マスコット「はにぼん」のモデルとなった盾持人物埴輪1点は、1月21日から九州国立博物館で開催される特別展「はにわ」出展のため、6月(展示再開日未定)まで見学できません。

本庄早稲田の杜
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
ミュージアム

所在地 本庄市西富田 1011 早稲田サ-パ-ク・コミュニケーションセンター(早稲田大学 93号館) 1階

開館時間 午前9時～午後4時30分 入館料 無料

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/3)

問合せ ☎ 0495-71-6878 FAX 0495-71-6879 ✉ hwmm@city.honjo.lg.jp



本庄早稲田の杜
ミュージアム HP